

## 2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム山田の里

作成日 令和 5 年 6 月 8 日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	現在、介護職員19名中、60歳以上の職員が8名、内70代1名と次の世代の職員育成が緊急の課題としてあげられる	3年を目途に20代～40代の職員の教育・指導を実施し施設を担って行ける人材の育成を行う	教育を重視し内外部の研修等に積極的に参加し、スキルアップを図る。又、管理者、主任・リーダーを中心として個々の能力・力量を把握し、適切に指導を行う	3年
2		離職者が毎年4～6名と高い水準で推移している。離職者を少しでも減らし魅力ある職場へ転換する必要性が大である。	残業を出来るだけ減らし、休み（公休・有休）などが取得しやすい職場作り。	最近ではスマホを日常的に使う事が多く、殆どの方がITを通じてコミュニケーションをとっている。記録、連絡事項等、IT化を図り業務負担の軽減を図る。	3年
3		看取りについて職員の認識の違いが大きい	看取りとは、どう言う状態を何を考え何をしなければいけないかと、スタッフ皆が同じ認識、同じ想い、目標に向けてケアを行う必要性が有る。	看取り研修（外部・内部）等を通し認識を新たに同じ目標に向かって取り組める様、施設一体となっていく。	3年
4		職員によってスキルの違いが大きい	介護に当たって知らなければいけない事、すべき事、してはならない事などを理解、把握出来、問題が起きた時、自分で解決の糸口をつかめるようにスキルアップを図る。	1人1人の職員のスキルに違いがあり、その職員には何が必要で何が足りないかを良く把握し足りない部分に教育（指導・研修）等を通し、資質の向上を図る。	3年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。